

**令和4年度  
第2回  
関市総合計画審議会  
会議録**

(令和4年7月28日)



# 第2回関市総合計画審議会

## 1 日 時

令和4年7月28日（木曜日） 午前10時00分～午後0時10分

## 2 場 所

関市役所 6階 大会議室

## 3 出席者

委員（15名）

（敬称略、順不同）

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
1号委員	足立 司郎	関市教育委員会
〃	野村 茂	関市農業委員会
2号委員	栗倉 元臣	関商工会議所
〃	江崎 久夫	関市老人クラブ連合会
〃	植原 純	関市PTA連合会
〃	北村 房子	関市地域女性の会連合会
〃	澤井 基光	関市社会福祉協議会
〃	多田 幸泰	関青年会議所
〃	吉田 千秋	関市消防団
3号委員	◎ 桐山 敏通	中部学院大学
〃	渡邊 恒夫	岐阜医療科学大学
4号委員	村瀬 光昭	関信用金庫
〃	高井 久美子	板取地域選出
〃	杉山 弥生	武芸川地域選出
〃	柴山 隆	公募

◎：会長、○副会長

事務局（関市 5名）

市長公室長 森川 哲也 企画広報課長 岩井 裕子  
（企画広報課） 鷲見 幸信 伊藤 敦子 中村 拓哉

#### 4 欠席者

委員（5名）

（敬称略、順不同）

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
2号委員	○ 遠藤 俊三	関市自治会連合会
	大野 武志	岐阜県関刃物産業連合会
4号委員	山内 美貴子	洞戸地域選出
	多治見 敦子	武儀地域選出
	波多野 清美	上之保地域選出

#### 5 次 第

1 開会

2 あいさつ

3 議題

関市第5次総合計画後期基本計画の施策について

4 意見交換

（1）人口減少対策の取組について

（2）社会情勢の変化を踏まえた取組について

- ・デジタル技術を活用したより便利な行政サービスのあり方とは
- ・コロナ感染拡大による市民生活の困りごとについて
- ・地球温暖化対策としてこれから行うべき取組とは

5 閉会

(午前 10 時 00 分 開会)

### ○企画広報課長

只今より、関市総合計画審議会を開催させていただきます。本日、司会進行を担当いたします企画広報課の岩井でございます。よろしくお願いいたします。

本日の欠席委員ですが、関市自治会連合会の遠藤委員、岐阜県関刃物産業連合会の大野委員、洞戸地域の山内委員、武儀地域の多治見委員、上之保地域の波多野委員が欠席でございます。

また、本日傍聴される方が 1 名ありますのであわせてご報告させていただきます。それでは、桐山会長よりご挨拶をお願いいたします。

### ○会長

皆様おはようございます。本日の議題は前回の審議会でご意見をいただいた後半部分となります。後期基本計画資料策定について市長から諮問をいただいてからお集まりいただくのは 4 回目となり、皆様からこのような場でご意見をいただくのは最後となります。

これからの関市に必要な取組などが後期基本計画に盛り込まれるよう、皆様からのご意見を賜りますようお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

### ○企画広報課長

ありがとうございました。これよりの審議会の進行を、桐山会長に願いたいと思います。それでは会長お願いいたします。

### ○会長

それではこれより議事に入ります。

まず「関市第 5 次総合計画後期基本計画の施策について」を議題といたします。事務局からのご説明をお願いいたします。

### ○事務局

それではまず始めに、議題の関市第 5 次総合計画後期基本計画の施策について政策 5 の施策 2 5 から施策 2 9 についてご説明いたします。

(事務局説明)

### ○会長

只今事務局より説明のありました内容の中で、ご質問やご意見のある方は挙手をお願いいたします。

## ○委員

自主防災組織ですが、市内で独立して活動している組織がどれくらいありますか。自治会の中で自主防災会活動を行っているところが多いと思いますが、もっと市民に自主防災組織の重要性を認識してもらえる取組が必要だと思います。

## ○事務局

自主防災組織の重要性を市民の皆様に認識していただける取組となるよう担当課と情報共有してまいります。

## ○委員

施策27の循環型社会ですが、関市は新聞紙や段ボールなど資源ごみの回収をしていない理由はなぜですか。資源ごみの集団回収の奨励金は、学校で行われている資源回収に対して行われていると思いますが、現在、子どもがいない地域は資源回収の対象外となっているため、すべての地域に対して資源回収ができているわけではありません。

## ○事務局

関市が資源回収を実施していない理由として、古紙の買い取り単価が下がったことにより、行政が負担する経費が増加したこと、民間が実施している古紙ステーションが増え、資源回収が民間レベルで進んでいることなどが挙げられます。

## ○委員

PTAでの資源回収の実施回数もコロナ禍で減少しており、学校の中には資源回収自体を止めようかという話もあります。今後ますます、資源回収に対しての担い手の減少が心配です。

## ○委員

資料の記載についてですが、例えば、現状と課題の記載が変わってきている。取組の順番も変わっているがその理由は。

## ○事務局

現状と課題の整理ですが、前期計画を策定してから現在までの間に社会情勢の変化や自治体を取り巻く環境の変化が起こっています。そのような内容を中心に現状・課題を記載しております。

## ○事務局

続きまして、政策6の施策30から施策37についてご説明いたします。

(事務局説明)

## ○会長

只今事務局より説明のありました内容の中で、ご質問やご意見のある方は挙手をお願いします。

## ○会長

例えば、施策32の公共交通の主な取組の内容に記載してある「EVバス」の文字ですが、EVとの表示では広く皆さんに伝わらない恐れもあると思いますので、「電動バス」といった誰もがわかりやすい表現にしていただけると良いと思います。

## ○委員

地域内バスが今後、有料化になっていきますが、高齢者が増加していく中、買い物した荷物を少し運んでもらえるなど高齢者に配慮していただけると良いと思います。

## ○委員

バス停の間隔が遠いという声を聞きますので、高齢者に利用しやすいよう間隔を配慮していただけるとありがたいです。

## ○委員

施策31の住環境にある優良な住宅供給のための宅地開発についてですが、農業委員会の農振除外や農地転用の手続きや上下水道の整備を進めていただけると、働き盛りの方々が関市に移住定住していただけるとと思います。以前も慣例で取り扱われていた事例もあったので、高齢化により使われない農地や耕作放棄地の有効利用をしていただければと考えてほしい。また、P17の公共交通の関係ですが、EVバスや自動運転バスの導入も結構ですが、費用が高額になると思いますので、これよりも前に市民満足度が低く、重要度が高い公共交通に対する市町村を越えた連携ができる交通網の整備が重要だと思います。調査や実証を早急にしていただき運行してもらいたいと思います。いろいろな企業の方のお話でも、従業員やお客様の移動手段を考えた場合、関市は公共交通が弱いと言われますので、解決できる取組を進めてもらいたいと思います。

## ○事務局

続きまして、政策7の施策38から施策46についてご説明いたします。

(事務局説明)

## ○会長

只今事務局より説明のありました内容の中で、ご質問やご意見のある方は挙手をお願いします。

意見なし

## ○会長

続きまして4 意見交換に移りたいと思います。まず始めに（1）人口減少対策の取組についてご意見を賜りたいと思います。

## ○委員

結婚新生活支援金制度の20歳代は60万円、30歳代は30万円といった年齢制限や区別については、現在は晩婚化が進んでいるため、私は年齢や金額に差をつける必要がないのではないかと感じています。

隣の富加町は人口が増加していると聞いているため制度を参考にしてもらえると良いと思います。年齢による区別は本当に効果があるのか、人口減少対策を考えると区別をしない方が良いとも思います。

## ○委員

空き家問題は全国的に顕在化しており課題であると感じています。本町商店街もそうですが、空き家がいつまでも手付かずの状態は景観上も好ましくありませんし、所有者にとっては既に必要がない資産であると思われる事例もあるため、市が積極的に解体補助などの空き家に対する取組は良い事だと思います。環境美化などを考えると空き家対策に取り組んでいただくと良いと思います。

## ○委員

例えば、空き家を解体してできた空き地を、市が公共利用として駐車場などに利用するといった活用ができるのならば、空き家の解体費は市が補助するなどの新たな制度の創出はいかがでしょうか。空き家解体が進み、空き地があれば新婚の皆さんが住宅として購入もできますし、太陽光発電パネルの設置も可能となります。市が空き家解体を推進することで、移住対策やカーボンニュートラルの取組にもつながると思います。

## ○委員

通学費助成制度については、市内や近隣自治体の高校へ通う生徒も対象ということでもよろしいですか。また、私立高校へ通う生徒への補助などはどうでしょうか。

私の子どもに対しては、土地を提供してあげたら他自治体から転入し、住宅を市内に建築した経緯があります。そういったことから、若者が市内転入を促すのであれば土地は重要であると感じます。

## ○事務局

通学費助成制度については、高速名古屋線の利用者である愛知県の大学へ通う生徒を対象としており、高校生の通学助成は現在のところ検討していません。



## ○会長

続きまして（２）「デジタル技術を活用したより便利な行政サービスのあり方とは」と「コロナ感染拡大による市民生活の困りごとについて」についてご意見を賜りたいと思います。

## ○委員

デジタル技術の活用についてですが、マイナンバーカードを活用して個人がコンビニエンスストアで各種証明書を取得できる制度を法人もできるようになると便利であると感じています。また、現在はまだまだ紙による申請が多い状態です。様式をホームページから印刷して申請しているのですが、これを電子で申請して決定通知もメールで完結するようになると紙の削減にもつながるので取り組んでほしい。

## ○委員

コロナ感染による影響でいえば、保護者の勤める会社の業績による収入の減が子どもの習いごとや部活動などの参加に影響を与えている。デジタル化については、子どものタブレット活用が進んでいるものの、紙の教科書との併用のため、教科書と合わせてタブレットを持って登校している。デジタル教科書がもっと増えると登下校で重い荷物を運ぶ負担も軽減になるので進めていただきたい。

## ○委員

公共サービスが便利になっているが、あまりにもサービスが多くなり、利便性が高くなると自助・共助が弱くなる気がします。やはり人と人とのつながりは今後も大切だと思うので、人とのつながりを大切にする政策を行っていただきたい。

## ○委員

先日、所属団体においてスマホ教室を開催していただいた。高齢者にとっては難しいことも多かったので、デジタル化の推進については、高齢者などを含め、広く市民に使いやすい仕組みづくりをしてほしい。

## ○委員

コロナ感染情報についてですが、以前に比べ市内の感染者数などの情報が少なくなった。可能であれば、感染予防につながることもあるので感染情報などを公表していただきたいと思います。

## ○委員

スマートフォンは私もまだまだ使い慣れていない。高齢者の独居や高齢者世帯の皆さんはデジタル化に触れる機会も少ない。このような苦手な方々にも目を向けてもらいたい。

## ○委員

オンライン申請の話は先ほど出ましたが、承認までオンラインでできると良いと思います。例えばごみの申請などもオンラインで申請から許可まで完結すると便利だと思います。バスと鉄道の共通券の話が出ましたが、岐阜バスと長良川鉄道が共通して利用できるカードがあると公共交通の利便性が高まると思います。

## ○委員

医療保険とデジタルに関連したコロナ感染について話をしたいと思います。関市も高齢化が進行しているため、要介護者の増加が懸念されます。その予防のため様々な取組を行わなければならない中ではありますが、市民公開講座などの開催が難しい状態です。それを解決するためにデジタルコンテンツの利用が可能であると感じています。

## ○委員

人と人との対面とデジタルの複合が今後も必要だと認識しています。

## ○事務局

カーボンニュートラルの取組は行政のみではなく、市民の皆様方の取組も重要だと認識しております。皆様からの意見をいただきたいと思いますので、意見シートに記入し、後日ご提出いただきたいと思います。

## ○企画広報課長

貴重なご意見ありがとうございました。

本日いただきましたご意見を参考に、引き続き、後期基本計画策定に取り組んで参りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

一つお願ひがあります。皆様方の任期が近づいているところですが、計画の策定中ということもありますので、引き続き、皆様と策定に取り組んでまいりたいと思っております。所属団体から委員就任のお話がありましたらぜひお受けくださると幸いに存じますのでよろしくお願ひいたします。

## ○市長公室長

皆さま、貴重なご意見ありがとうございました。

今日は長い時間ありがとうございました。これで終わらせていただきます。

どうもありがとうございました。

(午後0時10分 閉会)